

スペシャルケア歯ブラシの 歯周外科術後管理における臨床的有用性



東京科学大学大学院医歯学総合研究科 歯周病学分野
(東京都文京区)

歯科医師 **芝 多佳彦**

外科処置の術後のケアに適した歯ブラシ選びは、術後の良好な回復において極めて重要である。術後の歯肉は非常に繊細で刺激に弱く、通常の歯ブラシでは疼痛や出血を誘発してしまうことがある。そのため、**術直後には特別に設計された歯ブラシを用いることが推奨**される。

TePe「スペシャルケア」シリーズの歯ブラシは、術後など非常に敏感な口腔内のケアに特化した製品として設計されている。**非常に柔らかいフィラメントは、繊細な歯肉に対して優しく当たり、術後の疼痛や腫脹を過度に刺激することなくプラークの除去が可能**である。術後初期から使用できる設計でありながら、適切な清掃効果を維持できるため、術後の歯肉の治癒過程を効果的にサポートする。

このスペシャルケアシリーズは、ヘッドサイズの異なるコンパクトとレギュラーの2種類が用意されており、手にしっかりと馴染むハンドルデザインを採用している。コンパクトはヘッドが小さいため、臼歯部などの奥まった部位にもアクセスしやすくなっている。これにより、**患者自身が自宅での術後のケアをスムーズに行えるだけでなく、術後の出血や不快感を最小限に抑えつつ、効果的な清掃が可能となるよう工夫**されている。

特に歯周外科手術後は、術部周囲の腫脹や歯肉退縮が生じやすくなり、通常の歯ブラシでのブラッシングが困難になることがある。こうした状況では、刺激の少ない柔らかい毛先が歯肉縁や付着部に優しく触れ、術後の不快感を軽減しつつプラークコントロールを行うことが求められる。このスペシャルケアシリーズの専門的に設計された歯ブラシは、**術後の口腔内環境の改善を促進し、治癒を支える歯科医師・歯科衛生士にとって有用なパートナー**となり得る。



歯冠長延長術後2週の清掃時口腔内写真
フィラメントの柔軟性が認められる
(TePeスペシャルケア レギュラーサイズを使用)